

梅雨
の森

- 色々なお話を聞く中で、イメージを広げ、うさぎさんやしろねになら、色々な広場で遊びながら、お花さんや虫さん、小動物と触れ合い、やさしい心を育てよう
- 又、活動的なあそびを通して、足腰の発達と心身の開放を促そう



日中、汗ばむような暑さとなり、カエルの鳴き声やアジサイのつぼみも梅雨が来るのを待っているようです。

うさぎのピョンちゃんやしろねんが大好きなお子さんたち。

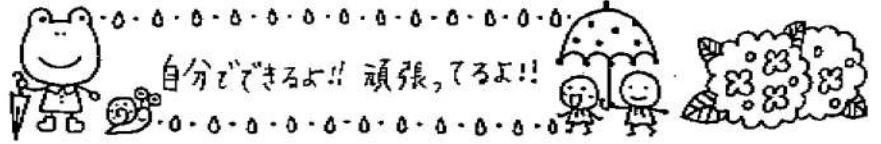
しろねんがお誕生日という話をし、みんなでごちそうの葉。はちやしろめ草のお花を持、て行くとうさぎさんが葉。はちを食する姿を見て、大喜びでした。それから、天気の良い日には、うさぎさんに「うさぎさんおはよう」と声をかけたり、しろめ草やクローバを持、て行き、うさぎさんへの愛情も育、てきています。

又、暑い日には、「お花さんのが乾いたかな」と声をかけると、「がわいた、ち」と言、て、嬉しそうにジョロも持、ち、お花の水やりをしているお子さんたち。

「お花さん おいしいち」「ありがとう、ち言、いよう」と身近な草花への興味や関心、優しさも育、てきていることを感じ、嬉しく思います。

また、最近では、大きなすべり台に挑戦し、綱のはしごを登、たり、木の橋を登、たりと、たくましさも見られるようになってきました。何かに挑戦しようとする今の姿を大事にしなが、ら、今月もお話の世界で心豊かに一人一人の好奇心を引、きだして元気に楽しくあそびたいと思います。

そして、水あそびやどろんこあそびを楽しみ、心身も開放していきたいと思います。



先月から布パンツをはいて遊、びています。

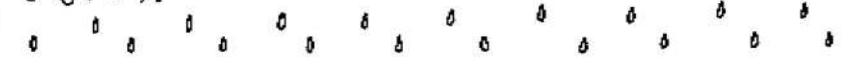
トイレに行こうと声かけをする、と、自分でオムツやズボンを脱ぎ、トイレに行き、「お姉ちゃん、パンツあ、たよ」「見て見て!」と嬉しそ、うにロッカーから取り出し履、いています。

ズボンが裏返しにな、ていても、自分で頑張、っています。

時間がかか、ても、自分の力でしようとする気持ちの方が何、れも大切です。上手にできたとき「すごいね」「自分でできたね」とほめ、あげる、と、「自分でできた」という自信が生ま、れます。

初めは小さな自信ですが、沢山の体験の中で、積み重な、ていった自信は、やがて大きな自信とな、り、心身の自立へとつな、が、ていきます。

今、芽生、えている「自分でや、ってみよう」という心も大事に育、ててきたいと思、います。



おねがい

- 暑くな、てきたので、お風邪用のバスタオルと汗拭、き用紙(及、タオル)を持たせて下さい。
- 全ての持ち物、に名前の記入をお願いします。又、名前が消、えていないか、再度確認をお願いします。

